研究機関名：下関市立市民病院

研究課題名：COVID-19 患者における入院によるフレイル進行と予後の関連
研究期間：西暦 2024 年 7 月 16 日～2024 年 10 月 20 日
対象材料： ☐病理材料（対象臓器名：　　） ☐生検材料（対象臓器名　　） ☐血液材料 ☐遊離細胞 ■その他（診療録） **上記材料の採取期間：**西暦 2021 年 1 月 1 日～2023 年 3 月 31 日
意義： COVID-19 患者における入院中のフレイル進行と予後の関連が明らかになれば、入院中のリハビリテーション戦略に対する重要な示唆を提供でき、臨床的意義が高いと考えられる。
目的： COVID-19 患者における入院によるフレイル進行と予後の関連を明らかにすること。
方法： 当院の患者データベースおよび電子カルテより後方視的に通常診療の範囲内で得られる患者基本情報や医学的情報、治療経過、リハビリテーション経過、退院後の全死亡、全再入院、全死亡＋心不全再入院の複合を診療録より収集する。
個人情報の取り扱い： 患者様の個人情報は、個人を特定できる情報とは切り離した上で使用する。また、研究成果を理学療法関連学会で発表するが、患者様個人を特定できる個人情報は含まない。
問い合わせ・苦情等の窓口： 〒７５０－８５２０ 山口県下関市向洋町一丁目１３番１号 下関市立市民病院　リハビリテーション部　月城　一志 TEL　０８３－２３１－４１１１　　FAX　０８３－２２４－３８３８